

■議会のうごき

平成22年5月15日～8月4日(抜粋)

- 5月 17 滝沢村身体障害者福祉協会定期総会(副議長)
- 18～19 全国町村議会議長・副議長研修会(正副議長)
- 20 盛岡地区監査委員協議会総会(議長)
- 21 議会運営委員会・全員協議会
- 23 滝沢ライオンズクラブ結成20周年記念式典(議長)
- 25 道路関係期成同盟会総会(議長)
- 25 滝沢村社会福祉協議会評議委員会(副議長)
- 26 滝沢村商工会通常総会(議長)
- 27 産業建設常任委員会
- 27 県土整備部関係団体通常総会合同総会(議長)
- 27 滝沢村シルバー人材センター通常総会(議長)
  
- 6月 1～2 議会運営委員会視察
- 2 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会要望会(議長)
- 3 滝沢村自衛隊協会定期総会(議長)
- 6 陸上自衛隊第九師団創立48周年、青森駐屯地創立59周年記念行事・チャグチャグ馬コまつり(議長)
- 10 第71回国民体育大会岩手県準備委員会第4回総会(議長)
- 11 議会運営委員会・全員協議会
- 11 チャグチャグ馬コ写真撮影会(議長)
- 12 チャグチャグ馬コ行事(議長)
- 13 岩手駐屯地創立53周年記念行事(議長)
- 13 第23回滝沢村民体育祭総合開会式(副議長)
- 17 滝沢村女性連絡協議会総会(副議長)
- 18 滝沢村学童保育連絡協議会総会(副議長)
- 20 滝沢村消防演習
- 27 滝沢村青少年育成村民会議総会・講演会(副議長)
- 29 滝沢村防犯交通安全協会連絡会総会(議長)
  
- 7月 1 岩手山山開き事業(議長)
- 2 八幡平山系直轄砂防事業促進期成同盟会総会(議長)
- 3 姥屋敷小中学校体育館落成記念式典・祝賀会(議長)
- 5～6 全国市議会議長会基地協議会理事会(議長)
- 15 産業建設常任委員会
- 15 滝沢村シニアトークの会との懇談会
- 15～16 県町村議会議長会政務調査会並びに政務調査会研修会(議長)
- 17 県消防協会岩手地区支部消防操法競技会(正副議長)
- 20～22 総務常任委員会視察
- 21～23 産業建設常任委員会視察
- 23 第37回岩手県消防操法競技会(正副議長)
- 26～27 町村議会夏季議員大学
- 26～27 岩手銀河プラザ物産展「チャグチャグ馬コの里滝沢村夏の特産市と観光展」(議長)
  
- 8月 2 盛岡さんさ踊り(議長)
- 3 議会運営委員会・全員協議会
- 4～6 教育民生常任委員会視察

岩手山の山開き式が7月1日に行われました。  
 今年は、「宮沢賢治」が岩手山に初めて登ってから100年を迎えました。



▲登山口で関係者がテープカット



▲八合目の山小屋



▲頂上で万歳三唱

■議長交際費

内訳/5月～7月

月	冠婚葬祭		お祝、会費	
5	0件	0円	5件	15,000円
6	1件	5,000円	4件	21,000円
7	1件	5,000円	6件	35,000円
22年度合計	2件	10,000円	19件	91,000円

議長交際費とは

議長が議会の対外的活動をするために要する経費です。  
 また、冠婚葬祭、活動行事関係などがあります。  
 ※詳細は、村ホームページに掲載しております。

総務常任委員会の活動報告(6月議会報告)

■調査事項/「税の賦課徴収と滞納対策について」  
 「中期財政計画について」  
 「組織機構改編について」

■調査日/平成21年11月30日(月)  
 平成22年1月28日(木)  
 平成22年5月21日(金)

委員長 齊藤 健二  
 副委員長 柳村 一  
 委員 佐藤 澄子  
 武田 猛見  
 遠藤 秀鬼  
 鎌田 忍  
 黒沢 明夫

「税の賦課徴収と滞納対策について」

税務調査員設置については、専門的な税務調査機能が必要とすることから経験豊富な調査員3名体制で業務を行っている。

納税相談などマンツーマンでの滞納対策方法で税務調査員の任務の重責を実感すると共に、調査員の配置数の適正については、課題もある。

一方生活困窮者も最近急増していることから、納税相談と共に関係課との連携を密にし、1件でも多くの困難事例解消に努めるべきである。

賦課徴収管理システムについては、新システム導入による収納業務の効率化が図られ、滞納管理業務についても導入したメリットが発揮されている。より収納効率化の精度を高めるため、賦課時における入力ミス等のないよう細心の注意を払うべきである。

今後、給食費、保育料、上下水道料金の収納システムと連携を図り滞納者一元管理することにより、村全



▲税の専門職員と新システムを使っでの滞納対策

体の収納率向上に繋がるよう、更なる新システム導入を検討すべきである。

「中期財政計画について」

中期財政計画は、総合計画に沿った財政見通しとなっているが、自主財源の確保が今後の最大の課題となる。

村債残高については、過去のごみ焼却施設等に伴う起債残高のピークが過ぎたことや、雫石・滝沢環境組

「組織機構改編について」

平成22年4月1日からの組織改編は、第5次総合計画後期基本計画に沿った計画推進のため、「住民視点での組織改革」「村民との連携」「行政経営体の取り組み」を基本に、6部門の基本政策と、重点政策を産業政策課に一元化し、その他部の枠を超えた政策課題への取り組みは、関係各課での横断的プロジェクトを設置するなどしている。

こうした改編は、住民に浸透するまえに次の改編が

合の設立による負担軽減が予測されることから、早急に対応を迫られる事業や、岩手国体2巡目を迎える会場としての施設整備、周辺のアクセスなどの整備事業が必要と思われる。

続き、住民の戸惑いもあることから、この改編が実効性のあるもの、かつ定着するよう進めるべきと考える。  
 一方で、本村の役場職員数は県内で人口一人当たりの職員数が最少(普通会計部門で297人・人口1万人当たり職員数は、全国類似団体150団体中10番目に少ない)であり、少人数で効率的に対応していると思われるが、職員の負担も重いと感じられる。